

秋工終盤粘り一桁順位

男子世羅(広島)2年連続V

世羅は1区の森下、3区の宮本が区間1位で世羅に迫って流れをつくり、6区大野ムワンギ、7区の村上の3人が、後がつかなくなった。3区区間賞を獲得する手堅いレース運びでトップを譲らず、半に巻き返して3位に食い込たすきをつないだ。4区では、洛南と競り合ったが、市川が6分付近でスタートして振り切った。2位の洛南は4区で

秋田工は1区佐藤宏が24位のりレーとなったが、2区佐藤祥が区間5位で21位に上がった。2時間3分30秒

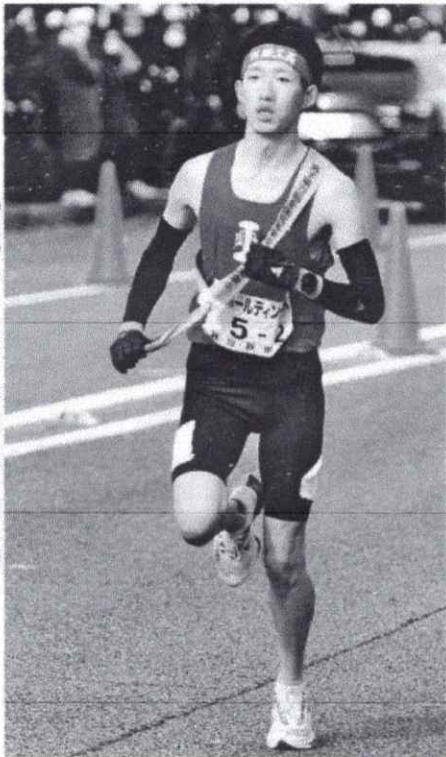
①世羅 2時間3分30秒
②宮本 2時間3分44秒
③村上 2時間3分44秒
④市川 2時間3分50秒
⑤山出 2時間3分50秒
⑥山出 2時間3分50秒
⑦山出 2時間3分50秒
⑧山出 2時間3分50秒
⑨山出 2時間3分50秒
⑩山出 2時間3分50秒

トラックでも諦めず

秋工

「お疲れ。いい走りだったよ。」サボートに回った男子9位の秋田工の野呂中央将(3年)はうつすらと涙を浮かべ、好走したアンカー細川にたすきを託した。

各校のエースが集う1区は24位と出遅れた。悔しい表情の佐藤宏亮(同)は「スタートの位置取りは良かったが、後半、上り坂で思うよう



【男子】たすきを受けて走りだす秋田工の2区佐藤祥。区間5位の好走で流れをつくった東京都

ドラマ

に伸びなかったと振り返った。後陣は諦めずに前を追った。2区佐藤祥樹(同)は後半に勝負をかけた区間5位。本人も「満点」と語り走り21位に上がり、流れをつくった。3区6区の2年生4人もレースを支えた。3区藤本駿世が18位に上ると、4区小松聖、5区池田優也は順位をキープ。6区大野聖登は区間賞の快走で12位で順位を上げ、細川にたすきを託した。

仲間から「一番気持ち強い」と評される細川。序盤からペースを上げ、後半も気力を振り絞って粘った。スタジアムのトラックに入ってからデッドヒートを演じた末に先着し9位を確保した。

チームは「強さと信頼」をテーマに掲げる。高橋正監督は「選手が諦めなかったことで競争に勝った。強さを体現してくれた」と評価。目標としてきた8位入賞にあと一歩と迫り、細川は「2年生はいい選手が多く、互いに競って成長してきた。来年はやつてくれると思う」と期待した。

▽3区	(8・1075)コス	▽7区	(5)村上(広島)	22分59秒
▽4区	(8・0875)宮本	▽8区	(1)小松聖(2年)	24分8秒
▽5区	(3)堀内元輔(前橋)	▽9区	(1)池田優也(2年)	9分0秒
▽6区	(8)大野聖登(秋田)	▽10区	(1)大野聖登(2年)	14分35秒
▽7区	(5)佐藤祥樹(3年)	▽11区	(1)細川優(3年)	14分42秒
▽8区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽12区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽9区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽13区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽10区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽14区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽11区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽15区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽12区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽16区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽13区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽17区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽14区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽18区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽15区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽19区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽16区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽20区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽17区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽21区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽18区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽22区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽19区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽23区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒
▽20区	(1)佐藤祥樹(3年)	▽24区	(1)佐藤祥樹(3年)	29分0秒

秋工大野、6区区間賞



6区区間賞に輝いた大野

男子6区(5)で区間賞(2年)は14分35秒のタイムに輝いた秋田工の大野聖登(2年)は6人を抜いた。県勢の区間賞は1992年の2度で佐藤寛人(経法大付)現明移が獲得して以来29年ぶり。

「区間賞を狙えると思っていました」と大野。上り坂は我慢し、下り坂でスタートをかける戦略がはまった。高橋正監督から「掲げに入った相手は全部抜いて」と送り出され、期待に応える快走を見せた。

今年の全国総体(インターハイ)の800が4位、1500が5位に入賞した実力を持つ。区間賞の走りにはまだ満足しておらず「目標タイムの14分20秒には届かなかった」とも。来年は「絶対に8位入賞を実現させる」と一層の成長を誓った。

主将不在で奮い立つ
○小雲が舞う都大路で2区間をトップで駆け抜け、歴代2位の2時間1分21秒で庄司安太郎の村上は「大きな目標を達成できて良かった」と喜びをかみしめた。

チームの精神的支柱である堀出主将が1週間前に足の故障を訴え、メンバーから外れた。「堀出のために」。苦境にチームは奮い立った。1区区間賞の森下が1位で渡したら乗る。「1区区間賞はいい選手が49秒の区間賞で好発進する」と、順位を落とさずに3区のムワンギにたすきをつないだ。全国高校総体5000が褒められた。

副将の留学生も実力通り、区間1位の快走を見せた。4区の市川は洛南の宮本に首位を奪われたが、6分手前でスタートをかけて奪い返した。24秒のリードをもちつた。7区の村上は「2位と差があったので落ち着いてスタートできた」と区間賞で締めくくり、ガッツポーズをついてゴールテープを切った。

堀出主将が駆け寄った。選手が持てる力を出し尽くした。前人未到の11番目の頂点に。新監督は「(今季は)いいスタートが切れた。いい選手たちがここまで走ってくれたのは感動しかない」と褒めた。